



先天性サイトメガロウイルス感染症の

診断と治療の展望



日時

2018.5.11 (金)

12:00 ~ 13:00



会場

第13会場 (会議室2)

仙台国際センター・展示棟



演者

日本大学医学部小児科学分野 主任教授

森岡一朗 先生



座長

神戸大学大学院医学研究科外科系講座
産科婦人科学分野 教授

山田秀人 先生

ランチョンセミナーの整理券は、参加登録後にプログラム検索アプリ上、もしくはランチョンセミナーチケットカウンター(参加登録受付に併設)にてチケットをお受け取りください。おひとり1日1枚のみ受け取り可能です。発券するチケットは当日開催分のみ受け取り可能です。配付時刻は以下の通りで、なくなり次第、発券を終了いたします。

- せんだい青葉山交流広場 (仮設テント内) : 7:00 ~ 11:30
- 仙台国際センター (会議棟 2F ロビー) : 7:30 ~ 11:30
- プログラム検索アプリ : 7:30 ~ 11:30

先天性サイトメガロウイルス 感染症の診断と治療の展望

日本大学医学部小児科学分野 主任教授
森岡一郎 先生

サイトメガロウイルス (CMV) は、先天性感染 (母子感染) を引き起こすウイルスの 1 つで、TORCH 症候群として古くから知られている。その診断は生後 3 週間以内の新生児の尿から CMV-DNA が検出されることによる。しかしながら、この検査は今までは限られた施設の研究室でしか行えなかった。2018 年 1 月より先天性 CMV 感染が疑われる生後 3 週間以内の新生児 (下図) を対象に等温核酸増幅法 (ジェネリス

CMV、シノテスト社) を用いた同定検査が保険収載された (保険点数 850 点)。これにより、先天性 CMV 感染の診断が一般診療で可能となった。

本講演では、先天性 CMV 感染の診断と治療の展望について、今までの厚生労働科学研究事業や日本医療研究開発機構での取り組みと成果も含めて紹介する。

先天性CMV感染が疑われる状況

① 疑わしい症状を持つ新生児

【新生児】

- ・低出生体重、SGA
- ・小頭症
- ・水頭症、脳室拡大
- ・脳室周囲石灰化
- ・大脳皮質形成不全
- ・黄疸
- ・出血斑
- ・肝脾腫大、肝機能障害
- ・聴力障害 (感音性難聴)
- ・視力障害 (脈絡膜炎)
- など

② 妊娠中にCMV感染が疑われた妊婦から産まれた児

【妊婦】

- ・妊娠中の感冒症状や発熱
- ・血中CMV抗体検査
CMV IgG陽転化
CMV IgM陽性

③ 胎児期に異常所見があった児

【胎児】

- ・胎児発育不全 (FGR)
- ・胎児超音波異常
脳室拡大、頭蓋内石灰化、
小頭症、脳室周囲嚢胞、
腹水、肝脾腫、
腸管高輝度 など